京城日日新聞

外人の日本婦人觀

山田内務省參事官譯

左の日本婦人に關する新聞の記事は歐米人の日本に對する智識は單に表面的であつて、日本人の神髄を解することの如何に薄く、其の誤解の如何に大なるかを知らしむるに足るものと考へる。云ひ換れば「プロパガンダ」の如何に必要なるかを思はしむるのである。「アムステルダム」（和蘭）「テレグラーフ」紙が左の記事を載せて居る。

日本に於ては、古來婦人の地位が極めて低かつた。彼等は其の夫に全然服從して居つた。既婚されて居つた。而して階級の少き者と雖も尊敬されて居つた。幼時から自分自身は零であつて、彼等の主人であり命令者である夫が全部であるといふ事を頭に叩み込まされて居つた。幼き時より主人に仕へ、世話をし、其の氣持を善くし、氣に入る樣にすることを專ら心掛ける樣習はされて居つた。而して事情がそれを要求するならば夫の爲めに命さへ捧げるべく教養されて居つた。女子が其愛する者を選はんが爲めに死を求めたといふ、同じ事を、眼目として居る偏說的の書物が大澤日本にはある。又女子供の時に兩親から賣られ、或は自身の意志に反して結婚したのが、夫の爲めにありて、自制自抑始めは夫、後に其死するや、其の長男の氣に入る樣一生懸命心掛けたと云ふ樣な犧牲的精神を發揮せる話も亦少くない。

併し大革命が日本に行なれて以來、又東亞の島帝國が西方の文明と接觸する樣になつて以來、此觀念に就いても著しく變化して起つた。一に婦人が「パン」を得る爲めに職を求めるといふ事になつた事に依りて其の變化が招來された。工場其他に於て、彼等は、より獨立なる地位を得ることになつた。彼等は其事止に於てより自由に、無意識になつた。彼等は自分で自分の途を行くべく學んだ。而して彼等も又固有の意志を持つて居る人間であるといふ事を自覺するに至つた。斯くて現在日本には嬢達に種々の職業教育を授ける大きな學校の長となつて居る教育ある婦人がある。アメリカで教育を受けた婦人がある。日本婦人大學で學んだ婦人がある。日本婦人の地位を改良し多年自由婦人の權利の爲めに戰つて居る西歐諸國の婦權運動者と連絡を取るべく全力を盡して居る婦人運動の領袖たる婦人等もある。併し是等の點に於て如何に改革せられ、改善せられたとはいふもの、兩親は其娘と結婚を希望する男に其娘を賣る事が出來る而も娘の意志に反しても賣る事が出來るといふ悲しむべき狀態は今日猶依然として存る。從つて兩親に勝手にされん事も絕えず發生してゐるので、兩親は娘を如何なる所へもやつてもよいものであるなどと云ふことになる。娘達は少しも考へない。何故なれば兩親に對して全然服從し全然柔順にするといふことが日本に於ける最上の掟であるからである。私が嘗て一人の娘にいふた、「若し貴女が其人と結婚することを希望せんならば拒んだら宜しい、兩親が何んとか云ふならば云いたい丈云はして置けばよい」と。それに對して「それはいけませぬ」といふのが其娘の唯一の答であつた。それに對して私が色々と議論をしかけたが「私の兩親がさう思ふのに、からさうしなければならない」といふ、販に際したやうな答へを繰返して居つた。然し斯の如きやり方を我々は「子供を其兩親から買ふ」といふけれども、日本人はさうは云はずして「娘と結婚する事を許されたので、金で贈り物をする」といふて居る。斯の如きいひかたは日本語の「チピカル」ないひかたである。人聞きだけは大變結構である。

比律賓紀行（八）

小林淺吉

（一）馬尼剌市
イ　馬尼剌市鳥瞰

二、市中見物

▲馬車の四時間　マニラに來て忙しい數日が過ぎると、最早仕事らしい仕事を持たぬ身の氣樂さ。渡來以來三年になる今村君が、今日は一日遊んでも宜いといふのを好い機會に、先づ學校や諸官衙のあるマラテ、インタラモース方面へと足を向ける。六月二十三日午前八時。遲い家では未だ朝飯の時刻だが、照り付ける樣な陽は面も向けられぬ。氣溫は華氏の九十度、折惡しく風がないので餘計に暑い。街頭に立つてジッと犬を叱る樣な合圖をすると、馬車が心得てやつて來る。飛び乘ると勢よく他の車を追越して走つて行く。一體マニラではよくよく短距離な場所か手ブラの都合でなければ歩かない。であれば、十分も十五分も歩かねばならぬ處でも無い限り、勞働者や下級社會の者は馬車を利用するか、電車を利用するかする。といふのは歩けば汗の爲めに訪問などの場合は具合が惡いのと、會社其他一般の家庭にしても、訪問時間は午前八時頃から十一時頃迄、午後の二時頃から四時頃までと、殆ど不文律の樣に定つてゐるから、人を訪問する際などに、ノコノコ歩いて居る餘裕がない。僅か三十萬人のマニラ市中に、自動車の數が四千、馬車の數が五千臺もあつて、それが殆ど休む隙なく走つてゐるのを見ても、如何に多數の人が車を利用するかが分る、併しそれは決して贅澤と許りは言へないのである。

ビノンドの寺院は、石造の素晴らしい大きなものでトンドの寺院よりは少し小さい位に見える。トンドの寺院は航海燈に、左方に當り所謂網蚌の爭ひ中に、一處の外交家がゐるものと相見える。

の南洋特有の植物が栽ゑてある。佳木繁る日の午後四時から六時迄は軍樂隊の奏樂がある。此のビノンドの寺院の前にも斯んな廣場があつて、洋アカシヤの大木に圍まれ、噴水塔からは、淙々と湧水が溢つて居る。樹の下には、靴磨きの子供が十數陣取つて、通りすがりの人をよびこむ。何れも貧民の子で頭髮も蓬々と生やし、何處の街角にも斯んな靴磨が陣取つて、馬車自動車の往復と共に、歩行の際にも二人三人位陣取つて、マニラに於ける煩さいものゝ一つである。靴磨きと共に此下に陣取つてゐるものは、花環賣の一團である。これは女丈けに服裝も淸々しく、山と積んだ黃、紅、白、紫、色取りどりの花を、椰子の葉の帶やマングローブあ木の葉などの、圓く束ねたものに挿して、附近一帶に飾り付けてゐる。誠に美しいもので、最初の間は此前を通る度に、我知らず足を止めるのであつた。

裏南洋

群島も同樣に軍事上大切な場所だそうな。島嶼をヤップ島に移したのは、夫れ或は同島のヒリッピンに近きが故乎。門外漢たる予輩の存ずる限りでない。

經濟上には何等收得なく、日本では既に二千五百萬圓を同島經營に使ひ果したさうだが、利得はないとのこと。唯だ夫軍事上で頗る重大の意義を有する處。軍は勝ちたいもの、敗たくないのはこのことだ。

南洋の日本村（上）

文學士　梓邊福雄氏談

南洋へ、南洋へ、南洋あつて行つたかと尋ねられて、南洋もなく南洋へ行つたのだから南洋のお話も出來ない。ベルクが始めて日本へ來た時小笠原島に差し懸り、望遠鏡で覗いて人影もなき樣子だから先づ…

我知らず足を止めるのであつた。

耶子の葉で編んで褌を締め、腰の周圍に紅白の小びらを數多びらつかせ、…カナカの男子はライオンも啻ならぬ丈夫さ。カナカは前のものだけかくした切りその他は裸體。兩人種とも跣足で、その殺首頗るのびのびしてゐる。ジャンギリは日本人と和蘭人の混血兒だといふことで、これは一種のガウンを被つてゐる。

新刊紹介

▲婦人くらぶ（十一月號）　婦人雜誌中の新進　此の第二號は外觀内容共に充實、繪畫なる口繪は栗原玉葉、當麻久和代の筆に成り、今其の重なる讀物を東くれば小說には岡田八千代の「醉心」の外に前號に於て大好評を蒙りし岡本綺堂の「最後の舞臺」近松秋江の「ゆく雲」「賴國時代の御結婚」、芳賀博士の「嶺の波」の轉載あり。万斗井晩水の「時の仇討」岡本霧華の「子供の勞働と國力」山田わかの「新生」安部磯雄の「社會問題としての婦人」宮田修の「婦人參政權まで」は婦人に智識を與ふべく、其他百數の讀物を揭げ加ふるに懸賞大募集を以てし讀者のシーズンに於て好適の讀物（定價八十錢　郵稅一錢五厘　東京本鄉區坂下町大日本雄辯會發行）

沛然と

して大粒の雨が銀箭を射るのだ。而も僅に紫の如く車軸を射らのだ。…

大正七年の十二月の十二日、東京では稀に見る大雪が終日解ける間もなく降續いて、思ひ懸けなく何寸と云ふ積雪。折柄の筑波颪の冷風に、肌も骨も凍えるかと思はれる未明の頃、芝區新網町の貧民窟の、とある小路に靜々と降りた自動車の後を歷々と窺ふものがあつた。白布の樣な小路の雪道に幾筋かの轍の痕を印して、二臺の自動車が止つた。前の自動車から降りたのは、絕世の美人、粹な服裝の御供の二人。後の自動車からは生々しい米俵が六俵積ろされて、やがて小路に沿つた貧民窟の戶毎に、一人宛一升五合の米俵からは一人宛一升五合を配りて、やがて何方にか消え去つた。

隨筆錄

伊達藝妓物語（一）

じろう生

「此頃の藝妓はてんでなつて居ない」と一口に言ふが、藝妓に意地のないには、殊に京城の妓の意地のない程情ない、他人事とは思へぬ。二三日前の或晚山の上の料亭で私の好き相な中藝者の元氣者を三四人招聘して遊んでの歸り途ツくく「意地のない藝妓」の悲哀を胸に感じて、寂しい樣な氣になつて家に歸ると、机の上に美しい繪葉書が一枚置いてある。日光中禪寺湖の秋景色、差出人は「富葉」。私は東京を旅立つて丸一年、忘れるともなく忘れて居た私の胸には意地と張りとで叩き上げた、江戶つ兒仕立の新橋の富葉の伊達な姿が浮び上がつた。

◇

「新橋の富葉の身には、未だ江戶つ兒の血が流れて居る」人から頼まれて「ウン」と言つて頭を縱に振つたが最後、決して後へは退かぬ俠氣で、此せチ辛い世の中を逆らうとする富葉は私の言ふ如く果して生粹な江戶つ兒の血が流れて居るであらうか、亦藝り者と世間から噂され、自分自身も又「藝り者」と稱して來た富葉が果してその半生を過ごして今日迄の其名の如く藝り者であるであらうか。

客から座敷に招かれて、氣に喰はぬ處があれば、御客さんでも其

…して探査の結果、右の篤志家は意外にも當時新橋藝妓中の「藝り者」として艶名を唄はれた海老名近江の富葉と言ふ事が判明した。當時富葉は二十三の若い身空であつたが、持つて生れた意氣地の張りは其全身に漲り亘つて、其の時から始めて知己になつた筆者の耳にも「姐様」としての鋭い感銘を與へた故であつた。

此の事が當時の新聞紙が喧しく書き立てられると厚かましくも富葉の許へは、種々の無心狀や品物の押賣の數々が、やつて來て流石の富葉も、之れには大分困り果てた樣であつたが。

「藝屆貧しい人を御救ひしたいと思つても、金のなる樹を持たないから、そう一々皆さんの無心を聞入れる譯には行かないわ」と富葉は當時よく愚痴を言つて居た。

● 時事詩評　鵜翠

文人騷客

雅號の起因（三）

竹の島人

櫻を愛して

池原櫻顚は德川幕府の醫官であつた。名は以文、字は良輔、號は別號があつた。刀圭を以て名あり、傍ら詩賦を好んだが、殊に櫻花を好んで詩賦を好んだ所から自ら「櫻顚」と號した。曾て闔、新、舊の韻を以て、櫻花を詠じて七言絕句五百餘首を得た事があつた。（文政年間歿す年三十八）

櫻塢村出先から

石山櫻所、名は良信、字は舟鳴。號を櫻所と稱した。陸奧の國登米郡、櫻塢村の人であつたから、櫻所の號があつた。幼少より笈を負ふて四方に遊び、西洋醫術を伊東玄朴に學び、後長崎に行き蘭人に就いて學ぶ所あり。藝大いに進んだので仙臺藩主伊達慶邦公が聘して、德川幕府に召され法眼に叙し將軍の侍醫となつた。時の將軍家茂は櫻所の用ふ可きを知り特に法印に叙したが彼れ櫻所の號がありしを以て、櫻花に因む香案院と云つた。元治慶應の頃幕府多事であつた。櫻所身は醫者にあつたけれど、固より憂國慨慨の士、常に國家の將來を思ひ、企劃する所多かつた戊辰の際藩命に從ひ、大阪より江戶に歸り、次いで仙臺に歸り松島に隱した。（明治十三年二月歿す年五十九）

内外報電

無政府主義者暴擧

……の地に去るアウレランたる襲撃せれたり(路馬來電)

炭坑夫聲明を發す

曰く炭坑夫組合は同盟罷業は政府は坑夫側の要求なるを以てせる爲なり吾人は譲歩するの餘地なきに至れり今次の交渉に十分の時間を與へ……其要求を修正し二回迄同盟罷業は又主張して曰く炭坑に努め其の代表者は罷業回避……(倫敦來電)

反排日演説會開催

……排日防止策を議し十九日……

兩廣に戰雲漲る

……部を占領し陳炳焜氏……陳炯明氏は衙門に會議の全……湘軍南下説盛なり廣西軍に……あるを以て省城の生活品は……せざるに依り同盟罷業を開……統一の通電に反對の決議……と(香港來電)

雲貴軍各所に敗北

……帰しつつあり商人等は彼等……氏が諸銀行を占領せる爲紛……市民は四川軍の後援を俟ち……

長河學生の赤化

……布せる過激派的ポスターの……立を要求し勞働者商人等に……統治を破棄せざることを求……

細民救濟鐵道建設

……の二鐵道建設に決定せり

東鐵と支那態度

……著しく高壓的となれり

借款利子に苦む

……支那政府は一歳六千萬圓に……なれが支那に就き苦心し居……

對墺講和條約發表

……發表すべし(東京來電)

獨立社會黨

……同日午後五時より盛大なる……を催ふしたり(安東來電)

同成會總會

同成會にては二十日午前十……總會を開き十四名出席對米……主題とし又倫敦に起れる炭……罷業事件の我國に及ぼす政治……經濟に就き協議する所あり……會せり(東京來電)

四川獨立取消

東邊鎭守使

敍位

……小久保……勅任参事……し二十日左の通り敍位の御……りたり(東京來電)

……正七位勲三等 三上……
……五位勲四等 小久保喜七

定期敍勳

……十日定期敍勳の御沙汰ありたり(東京來電)

敍正三位 功三級 男爵 田中義一

樞府顧問新任

……珍田捨巳伯爵……男爵兩氏は樞密顧問官に任命に決定せり

茶話會總會

貴族院茶話會にては二十日午前十一時より總會を開き時局問題に就き協議し引續き盛餐勞働會議より歸朝したる内田嘉吉氏より勞働會議の状況を聽取する所ありたり(東京來電)

關税復活可也

政府は米價下落防止策として昨十二日の閣議に於て關税復活の件を決定せるは已報の如し農商務省一回發表の本年米作豫想高は六千五百萬石に達する見込にして空前の豐作なり近年類りに米穀缺乏の状態にして米價の高騰は國民生活を脅威し社會問題思想問題等と極々複雜せる關係ありて解決にも困難を招致し政府當路者も此點に就き腐心し居るのみならず本春以降財界不況に伴ひ近頃は既記暴落し株界の崩落に引續き金融梗塞一般農家の憂慮一方ならざる矢先き今回の米作豐饒の爲め更に米價下落の兆候ありて此状勢より推すれば本年末より明年度初頭に掛けては一層米價の下落を招き農家の窮境は豫想外の困難あるものを考し政府は之が防止策を講じたるものなるべし今や外米の倉庫保管は政府の持餘れとなるの状態にあり加ふるに朝鮮臺灣等亦豐作なるを以て此儘に推移せば内地農家の生活危殆に推するは勿論なるを以て之が關税を復活して内地米を保護する爲め政府が一種の保護政策の舉に出でたるは極めて適切なる措置にして尚ほ將來幾多の關税品目中改正を必要とするものあり爲めに目下大藏省にては鋭意之が調査進捗中なりと云ふ

歐州農作豐饒

歐洲各地に於ける本年度の農作状態は一般に良好を示して伊太利西班牙の米作は平作以上の收穫を見るべき豫想にて瑞西も農作物良好を傳へられ小麥は本年度播種後間もなく降雨多なりしは多少作柄憂慮の聲ありしも收穫期に近づき濃度高く晴天續きにて天候頗る順調なりしは歐洲大陸各地を通じて一般に良好なりと報ぜり

二市附近米作

ニコリスク市附近に於ける水田は米作に適し朝鮮人の微々たる經營のみにても今年度五百萬石の收穫ある見込なりといふ

殖産銀行 救濟資金 貸出決定

朝鮮經濟界は從來に於ける内地財界大動搖の波瀾を移して刻下向は危然たる恐慌の状態を持續し物價は下落し取引は澁滯し貿易も亦萎靡不振に陷り從て金融の梗塞特に著しきものあり故に今にして適……

(一)借替によりて營業の繼續に付確實なる成算あるものなる
(二)時の好調に連れ徒らに浮華に走り奢侈に流れ或不當の思惑を爲して資金を散逸せしめたるものにあらざるものなること
(三)將來の思惑助長資金とならざるものなること
(四)確實なる償還資源を有するものなること
二、普通銀行の貸出口にして前項に該當するものに對しては當該銀行の依頼又は諒解の下に同代り貸出を爲すこと但し前者の場合は當該銀行の保證を希望す
三、細民の金融不圓滑は刻下人心安定上及經濟上最も憂慮すべき結果を來すが故に十分の調査を爲し各道各金融組合に依り各々限度を定めて資金を供給し上記の制限に依り貸出を爲さしむる

第二 實行方法
イ、貸出形式 年賦
ロ、期間 五ケ年間以上
ハ、金利 普通
ニ、擔保 不動産
ホ、用途 前記の方針に適合するものなるか故に十分精査をなすこと
ヘ、注意 償還に就ては比較的確實なるものに限るか故に營業計劃を調査し營業利益又は收穫物を以て十分豫定の償還を實行し得るものたるを要す

殖銀新理事就任説

殖産銀行に於ては有賀氏頭取就任と共に石井氏補缺理事に就任し理事一名缺員の儘今日に到りたるが最近に於て前黄海道第一部長たりし深尾道恕氏が殖銀囑託として新に入行し近く理事に推薦さる可しと其事は從來殖銀は鮮銀と異にし官僚系人物の入行を排し……

仁取株主總會

重役選擧無事終了

仁川米穀取引所株主總會は豫報の如く二十日午後一時半より商議所樓上に於て開かれたり出席株主五十七名委任約二百五名合計二百六十二名、其株數一萬六千九百九票、(棄權三千九十一票)大池忠助氏を除き重役全部出席若松社長議長席に着き開會を宣し直に本期間の營業報告を爲す議案に移るに先立ち岩田仙宗氏の定款並に本府命令との矛盾に就き議長との間に質問應答ありて一波瀾起らんとする形勢ありしも各見解を異にするとて不得要領裡に通過、其れより荻谷篤夫氏の重役選米に關して議長に迫りしも議長巧に其鋒鋩を避く……

監査役	
一六三八三	丁致國
一三四八	白神專一
一五三三	天日常次郎
一三〇三	原勝久
一二〇七	齋藤久
一一八〇	藤村忠助
次點者	

一六三八三	若松兎三郎
一五七三八	河野竹之助
一五四七八	吉田秀次郎
一五三二八	加來榮太郎
一一二九七	荒井初一
一一五五	朱性根
一一三七二	吉城管堂
次點者	荻谷篤夫

仁取營業概要

仁川米豆取引所は今回の株主總會に於て發表されたる同所本期間の營業概要は左の如しと

本期間に於ける開市日數は百五十三日、期米賣買高四千七百五十八萬八千七百石(一日平均出來高三十一萬一千石)其手數料收入總額七十七萬圓八千七百九十八圓五十錢にして前期の業績に比し四百三十八萬五千四百石、九萬八百四十四圓五十錢の減少を示せり而して當期間に於ける相場の最高は五月限りの四十七圓三十五錢(四月六日)最低は十一月限りの十八圓三十六錢(九月二十五日)にして其差實に二十九圓に達し其間四月に於ける内地株式市場の暴落に端を發し自後財界の動搖に伴ひ相場の變落激甚を極めたるに拘らず追證整理の爲め數回市場の立會せを進行しなるの外平穩に立會を續行し比較的良好なる成績を收め得たりと云々

辭令

朝鮮總督府判事 有賀十藏
朝鮮總督府判事兼朝鮮總督府判事懲戒委員 …… 賢介
朝鮮總督府判事 …… 俊太
同 …… 藏兎
朝鮮總督府判事懲戒豫備委員 ……
朝鮮總督府秘書官 守屋榮夫
(以上廿一日附)
京城地方法院檢事 山澤佐一郎
補京城地方法院仁川支廳檢事
命高等官……
任朝鮮總督府遞信局事務官 小島源藏
……
(以上十月廿日附)
免釜山郵便局長心得 池田……

府議選擧人名簿

……府議員選擧有資格者人名簿は來る十一月廿日より縦覧開始すべき……廿一日より向ふ一週間縦覧に於て一般公衆に縦覧を許し府……因に選擧有資格者は内地人二千百四十五人鮮人二千六百二十六人なり

過激派の貨幣經濟(下)

(英紙所論)

▲勞働貨幣の制度を設立することもソヴィエット政府の一般經濟状況を全然變更することは出來ないであらう、是が爲めに生産の改善も行はれない、であらう、又勞働者の要求を滿足せしむる事も出來ないであらう……

綿布輸出杜絶

大阪税關内に於ける西伯利貿易は昨今殆と杜絶の状態に在りて從來に於ける貿易品は殆と綿布類にして昨年十二月四千五百十六圓本年三月九百六十八圓八月四千六百二十四圓の各輸出なるに本年一月……

驛長機關區長會議

京管局京義線南大門新義州間京元線龍山稻道間及仁川全線の驛長機關區長會議は二十日午前十時より龍山京管局倶樂部内に開會各課長以下の出席ありたり

板硝子低落す

白耳義の本邦板硝子は輸入あるべ……

英艦歡迎會

仁川府にては目下入港碇泊中なる英艦「カイロ」號歡迎に就き二十日午後三時より相談會を開き二十一日午後六時より艦長以下乘組將校十一名を八坂樓に招き純日本式料理にて饗應したるが今回は會費十圓にて寄附金を求めず餘興としては内鮮兩藝妓の手踊等ありたり尚同艦にては其返禮挨拶の意味にて二十二日午後三時より前夜出席したる人々を艦上に招きてアットホームを催す可しと(仁川)

警務課長任命

從來高等課長……京畿道第三部警務課長は二十一日新任道警部吉村十七夜月氏任命せられ……

商議出席者歸鮮

……

在鄕軍人分會數

……

尼港殉難義金送納

……

總監晩餐會

水野政務總監は廿一日午後六時半より總督府前……

棉花入札不成立

……

仁取新仲買人許可

……

學校一行團退城

……

人事

▲吉村十七夜月氏(京畿道第三部新任警務課長)廿日夜着任
▲中西滿鐵社長 廿一日午前七時廿分發釜山へ
▲星博士 同日午前九時卅分滿洲方面より入京朝鮮ホテルへ投宿
……

關野博士の講演

支那及印度の視察團

……

一夕の清話に就て

該記事の一部取消

一記者

……(一記者)

株式界

……

商況

二十一日大阪入電後場

大阪	一〇〇、七〇
同新	一三九、三〇
郵船	五七、〇〇
同新	七三、四〇
商船	二二、〇〇
同新	二〇七、八〇
鐘紡	一八八、〇〇
同新	六六、七〇
東株	三六、二〇

二十一日東京入電前場

鮮銀	一〇七、〇〇
同新	三一、五〇
東拓	四八、五〇
同新	一三、〇〇
滿鐵	一〇二、〇〇
同新	一八、〇〇
東株	四三、〇〇
同新	一三、五〇
東株新	一一四、〇〇
取	三六、〇〇

京株市場出來値(二十一日)

(前場・後場) [illegible]

仁川期米特電

十月二十一日前場

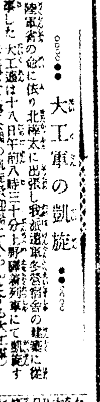
東京期米特電

十月二十一日前場

大阪期米特電

十月二十一日前場

十月二十一日後場



●●大工軍の凱旋●●

陸軍省の命に依り北樺太に出張し我派遣軍冬營宿舍の建築に從事した大工連は十八日午前八時三十分上野驛着列車にて凱旋す(寫眞は上野公園の凱旋歡迎場に入らんとする大工軍)

皇后陛下東大行啓

各學部附屬病院等御巡覽あらせらる

東宮殿下行啓

海軍々令部へ

李王世子殿下

演習より御歸還

(東京來電)

正式に仰出される

大演習の御名代

東宮殿下の御日程

直通飛行

露國飛行家の計劃

東京浦鹽間

殉職の警官に弔慰金

愛婦にて支出

事態容易

此要求を容れらるれば

鮮美報

内地に輸入さる

不逞の檄文と共に

南海電車正面衝突

死傷者六十餘名

專修學校生徒

校名改稱の要望

容れられざるを理由とし

結束同盟休校す

背後に何等の陰謀なきか

教育令の其の合を

生徒は吾等を裏切った

萬一訓戒を用されば

止むなく斷固の處置を執らん

涙を揮つて吾孫子校長語る

各保證人

重大なる生れ變り

(四)男？女？

怪物パツパの正體

藝妓を歸して同衾した告白

嫌やな氣

藝妓を招

一向に要

飲み倒し

始末におえぬ

何方へか逐電

鮮支人に防疫觀念薄く

西伯利に黑死病蔓延の兆

稀れなる盛會

仁川小學運動會

駆落不心得者

夫を裏切った

檢事局送り

祭典の兩日に

新町遊廓に撒き散された

遊興費が一萬五千圓

掏兒

食卸し常習犯

本町署に捕はる

三面拔萃帖

手に終へぬ

花柳界の今昔譚(八)

藤公の横面をお見舞申す

懷劍で脅された文之助

未だ公にされぬ秘話一つ

料亭千歳の女將語る

八週年記念式

不法なる

自動車

晋州通ひの

轉落し即死重傷を出す

鎮南浦

埋築地だけ大繁昌

必ず若い妓を

派遣部隊の活躍

賊團を各所に剿討し

銃器彈藥多數を鹵獲す

二十一日午前十時二十分　朝鮮軍司令部發表

牧大佐の指揮する部隊

安部少佐の第三指揮

十時中佐の第三指揮

皇軍の威武徹底す

首魁は逃竄し部下は解散

住民永久駐兵を希望す

蔡源義勇兵を募る

會社員襲撃さる

到底再擧覺束なし

賊團失敗を自認悲觀す

晴霞社を剿討す

溝坪里に賊徒出現

憲兵隊撃退す

「百五」

小栗判官 照手姫

旭亭 櫻山 口演

賊魁九頭龍の最後

七郎左右衛門からの呼出しに應じて忽ち馳せ集まつた河野一家四十三軒の者共は賊魁を平げるは此時にありと悉皆準備を整へて一同手ぐすね引いて待ち構へる、とも知らぬ賊等は夜に入るのを待ちかねて第一番に妙義太郎を先頭に二陣三陣の勢を整へて總大將の九頭龍九郎指揮を為し既々喊聲を發して河野七郎左衛門方の門を押つ取り發き打破られ、頭領や兄分達の仇を復し今度こそは充分食物に預からうと必死込んで乱入したが、河野方の準備は既に整つて居る「何の小賊物かは」と先づ總地太郎が飛出した、鯉の瀧登の八角に拔き上げたる槍を取つて、ブーン／＼と手當り次第薙る、引掴ふ、イヤどうも其の勢の凄しさ、手に當る者がない、阿武隈の同勢がドツと崩れ初めた、重兵衛之を見て「貴彼れは何者だ」傍に居た大八笑傍と笑つた大「我れは小栗小太郎助重の家來後藤大八と云ふ者ぢや阿武隈重兵衛觀念しろと矢庭に一刀引拔いて掛つて掛つた、足元から鳥が立つたといふは此事、重兵衛アツと驚いて身を返さうとした時に、大八躍り掛つて切付けたので重兵衛パツと血煙立てゝ打倒れる、此日九頭龍九郎は悪戯鐵の鎧を着し、立派な鉢巻をなして居るなど、支度は頗る勇ましいが、大八の武者振りを見るよりこりや到底敵はぬと思ひ、コソ／＼逃げに掛つたので、傍に居た此茂次郎は此「第一の頭領が逃くるといふ事がありますか、此茂の次郎これに控へ居りますぞ」九「宜しいか先生」次「宜しうござる」九「大丈夫か」次「大丈夫でござる、御心配なさるな、先づお待ちなさい」と九頭龍の襟首を引掴んだ九「何故手前乃襟首を…逃げは致さん」次「イヤ逃げるといふ法はない逃げやうとして逃がしは致さん、覺悟致せ」、九頭龍九郎いよ／＼驚き九「汝は敵も怪しき奴」次「如何にも我れは小栗の家來、寄間次郎と云へる者だ山賊覺悟をしろ」九頭龍九郎扨こそと悟てながらも切込んで來ると心得たりと、寄間次郎拔き合せてチヤリン／＼と斬結ぶ、其處へ後藤大八が馳付けて參りました、他の臣等もやつて參る、總地太郎も乘込んで來る是だけの豪傑に取巻かれて九頭龍も何にも減茶苦茶或は倒られ、或は打たれるので身體の形もないやうになつて了つた、小賊の中に逃げやうとした奴は片ツ端から討ち取られ降參する奴は生擒りとなつて、高野の家では一端にドツと勝鬨を揚げて居ります處へ、村方一同の者も後れ馳せながら、各村自に獲物を提げて〇「ヤア梵天ケ嶽の悪漢でございますか、此奴等の為にどの位村の者が難儀をしたか知れないお手傳ひをしませう」七郎左右衛門立出で七「片付いてから來ても役には立たない」▲「併し跡片付けといふ事もありますから、其の御手傳ひに出ましたので」七「其れは御苦勞だつた」生捕つた奴は庭の松の木へ結び付けて然ひ▲「ソレ山へ押出せ」と數で悪漢が先に立つて山塞へ乘込んだ、暫つて居りました少賊共に此話しをすると、皆平蜘蛛になつて降參をする集び集めてあつた金銀財寶は一同の百姓に勝附けて福井村へ運ばせ、女共一同も七郎右衛門方へ移す事になりました、斯んなな住家を跡に殘して置くと不可ないといふので、火を放けてドン／＼燒捨て、福井村へ引揚げて參つた後、一同の小賊を呼出して、今後の改心を誓はせ、正業に有りつく資本として若干づゝの金札を



演藝案内

日活京城 … 柳生又十郎 全七巻 …

黄金館 電話 二六六、二六三七 十月廿二日より特別名畫公開

舊劇 岩見重太郎 全五巻

家庭悲劇 名金 全四巻

米國名優 日本劇 お雪さん 全五巻

實寫 飛行機上より見たる東京 ウヰリアム、ローレンス氏 ジョンヒクロー青年 お雪さん ファンニー、ワード嬢

新派悲劇 絶海の孤島 全五巻

大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 來る十月廿二日より提供

實寫「パテー・ニウ第二報」長尺

喜劇「マックスの婚禮」長尺

尾上松之助大車輪 舊劇「金剛傳加茂」

「小太郎」全五巻

米國メトロピクチャー會社傑作 人情活劇「不思議の目」全五巻 メトロの明星エディス、ストーレイ嬢主演

山本、東郷、衣笠一派總出演 新派悲劇「つきぬ縁」全六巻

毎月一・十五日・月曜日・夜開館

喜樂館 本町壹丁目 電話五九七番 來る十月二十二日より一週間の三大映畫提供

日活向島派最新撮影 新派悲劇 殘る月 全五巻

米國 電光石火 全卅一巻 第二回 第三篇 第四篇

朝鮮郵船

元山出帆（取扱店 吉田運漕會社）

- 大阪行 十月廿五日 清津丸
- 下關行 十月廿二日 會寧丸
- 江原道行 十月廿二日 濟州丸
- 敦賀行 十月廿九日 立神丸
- 清津行 十月廿四日 立神丸
- 雄基行 十月廿二日 隆興丸
- 浦鹽行 十月廿五日 越後丸

釜山出帆（取扱店 大池回漕部）

- 大阪行 十月廿七日 平安丸
- 大阪行 十月廿五日 平壌丸
- 下關行 十月廿三日 會寧丸
- 新義州行 十月廿五日 咸鏡丸
- 北鮮行 十月廿三日 京畿丸
- 浦鹽行 十月廿三日 清津丸
- 鬱陵島行 十月廿三日 金海丸
- 江原道行 十月廿二日 隆城丸
- 濟州島行 十月廿二日 昌平丸
- 木浦行 十月廿二日 海州丸
- 新義州行 十月廿四日 櫻島丸

木浦出帆（取扱店 山野回漕部）

- 大阪行 十月廿九日 江浦州丸
- 釜山行 十月廿二日 昌原丸
- 濟州島行 十月廿四日 慶興丸
- 多島海行 十二月一日 公州丸
- 仁川行 十月廿七日 全州丸
- 新義州行 十月廿六日 咸鏡丸
- 極南行 十月廿三日 平壌丸

仁川出帆（取扱店 堀回漕部）

- 大阪行 十月廿七日 新義州丸
- 濟州行 十月廿九日 咸鏡丸
- 木浦行 十月廿二日 全州丸
- 海州行 十月廿二日 順天丸
- 鎮南浦行 十月廿五日 盛京丸
- 青島行 十月廿四日 江原丸
- 鎮南浦行 十月廿七日 鬱島丸

朝鮮郵船株式會社 電話 一二三一、一三二三番

釜山支店 電話一八四番

元山出張所

京城取扱店 常社ハ日本郵船會社大阪商船會社ト並ニ運送ノ便有之候